

山形県 高校入試情報

令和7年度山形県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 大問は4問、小問数は23問で、分量に大きな変化はない。
- 例年通り、解き方も書く2次方程式や方程式をつくる問題が出題された。
- 例年、大問2で出題される活用を意識した問題は、今年は確率を使って説明する問題であった。大問3は、1次関数の利用、大問4は、相似の証明を含む三平方の定理を使う問題が出た。
- 毎年作図問題（平面図形、グラフ）や記述問題（計算過程、図形の証明）が多く、出題形式に慣れる必要がある。まず基本事項を正確に押さえて、十分に練習しよう。

★山形県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■ 証明問題の出題

・例年どおり、図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

新研究で対策！

- 「ウォームアップ特集 合同の証明」(p. 82～83)、「フォロー特集 マチガイから学ぶ！答案の書き方のコツ～図形の証明～」(p. 96～97)で、証明のポイントや、証明の書き方のコツを詳しく解説しています。
- また、「共通部分を見つけよう！合同と相似の証明」(p. 182～183)で、集中強化できます。

■ 関数の利用の問題の出題

・関数で表される関係について、グラフを使って考えたり、関数の式を利用して解く問題がよく出題されている。

新研究で対策！

- 整理編単元15 1次関数② B問題 (p. 81) や、「変化のようすに注目！図形上の動点を考える問題」(p. 180～181)で、入試によく出るパターンに取り組むことができます。

計算過程を書く2次方程式や作図問題が出題されるので、類題を解き、徹底的に練習をしておこう。



★山形県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容		●	●	●	●
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式				
		方程式	●	●	●	●
		比例と反比例	●	●	●	●
		平面図形	●	●	●	●
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用	●		●	●
	2年内容	式の計算	●	●	●	
		連立方程式	●		●	●
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方	●	●		
		三角形			●	●
		平行四辺形				
		確率	●	●	●	●
		データの比較と箱ひげ図		●		●
	3年内容	式の計算	●	●		●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質	●	●	●	●
		三平方の定理	●	●	●	●
		標本調査				
出題形式別の傾向	大問数		4	4	4	4
	小問数		23	23	24	23
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1	1
		その他の説明・証明など	1	1	1	1
		立式・解法の過程の記述	1	2	2	2
		作図(図形)	1	1	1	1
		作図(グラフ)	1	1	1	1

★新研究で出題した山形県の入試問題(令和7年度)

p.13大問5(1),p.171大問2,p.187大問3